

## 第3回理事会事前意見集約

令和2年5月2日  
講座総括担当(鎌田)

### 0. 初めに

お忙しい中本日の議案集についてご意見を頂きありがとうございます。藤崎さんのお提案を受けて ZOOM での会議であり、事前にご意見を伺ったところです。決して反論ではないですが、提案者として頂いたご意見に対して少しコメントします。

前回の理事会の終了後、会員の皆さんには Skype の環境整理をお願いしながら、裏ではオンライン講座の開催に向けて ZOOM の検証を行う毎日であり、若干良心の呵責を覚えながらの作業でした。また、猪突な提案であったところです。

岡田さんからは次のようなコメントを頂いておりますが、全くその通りかと思えます。

(岡田さんコメント)

2回目の理事会で9月延期の決定後、直ちに この問題を進められたことから 私は ストップ  
しています。

でも、皆さんの協力により ZOOM を用いたオンライン講座の開催の確認が出来たところです。今日は受講生の立場、講師の立場、本会としての活動の意義等、多くの面から検討をして頂き、オンライン講座の開催の是非について整理を図って頂ければ幸いです。

山下さんから次のコメントを頂きました。また、川本さんからも今回の発端になったことについてメールを頂きましたが、なぜ私がオンライン講座を検討したかと言えばやはり山下さんのご意見を受けて9月までの受講生対応をどの様にすべきかでした。活動を休止しても添削指導は行っており、また、この機会を活用して復習をと受講生に働かけをしている所ですが、実際に取り組みされている方は2~3名です。その対策として考えられたのがオンライン講座でした。前回の理事会に提案すべきであったと反省しています。

(山下さんのコメント)

22日の理事会で私の発言がきっかけでオンライン講座を模索されたということですが、私の  
思いにはオンライン講座は全くありませんでした。

9月開催までは長いので、メールで作成課題や練習問題を出していただけたらどうなのかな  
あとの思いからの発言でした・

## 1. オンライン講座の目的と位置づけ

皆さんから次のようなコメントを頂きました。

(横尾さんコメント)

5月からの講座で令和元年度櫃原教室基礎、応用2講座 宇陀教室、4講座、香芝教室  
4講座の未実施分が解消出来る事は良いことと思いますが少し不安な部分として

- ① パソコンの環境整備に事前に鎌田さんをはじめ各講師にご面倒をお掛けしますが、ご了解を頂く。
- ② 受講生にとり初めての体験であり満足度は如何かと不安が残る
- ③ 受講料がどのようになるのか、受講生に説明の必要あるのではと思うのですが、如何でしょうか
- ④ この講座を実施することで、3教室が揃って応用科に入れるので、開催の位置づけとしてお願いしたい講座です。。

(藤崎さんコメント)

「オンライン講座の開催について」に記載して下さっている内容のとおりです。

(山下さんのコメント)

- ① 受講生のみなさんが家におられて、一斉に講座に参加することができるのでしょうか。
- ② すでに受講生の皆さんは、パソコンの教室は9月まではないと思っておられるでしょう。

(岡田さんコメント)

もちろん、このことについて勉強するのはやぶさかではありません。

受講生のみなさんとこの休みの間に新しいコミュニケーションが体験できるのはとてもいいことです。(その程度で良い)

(中略) ⇒ 「2. オンライン講座日程(案)」等に記載

コロナ問題で心を痛めているみんなに 少しでも負担の少ない楽しい時期に…ZOOMを楽しんでいいのではないのでしょうか(^O^)/

オンライン講座を開催するのであれば、やはり本会としてその目的と位置づけをキチンと整理する必要があります。改めて開催の目的を整理すると次のとおりです。

- ① 自粛期間中の受講生対応
- ② 令和元年度残り講座の実施
- ③ 令和2年度講座のスムーズな立ち上げ
- ④ 会計の健全化を考えて返金をなくす

受講生の現状はどうでしょうか。第2回理事会の結果をメールおよびホームページで連絡をしているところですが、基礎科、応用科ともに見られている方は半数です。相談サロンは数名です。

見られてない方の多くはコロナ対応で精いっぱいであり、パソコンどころでないでしょう。また、

自粛を強いられて改めて自分自身を見直しされてパソコンの必要性のなさを考えられた方も多  
いのではないのでしょうか。9月再開には多くの辞退者もあるかもしれません。

私としては、オンライン講座を開催してその成果は別として、本会として講座の実績を作り令和元  
年度の整理を図りたいところです。

## 2. オンライン講座日程(案)

皆さんから次のようなコメントを頂きました。

(横尾さんコメント)

受講生にこの講座で令和元年度の締めくくりと理解頂けたらありがたい  
応用科終了者への茶話会日程についての再検討

(藤崎さんコメント)

オンライン講座は応用科の残り講座だけの方が良いのではないかと思います。  
休止中の4ヶ月間を下記のようにしたらよいのではないかと考えます。

(1) 5月、6月 ⇒ 受講生の関心がありそうなミニ講座程度の簡単な内容とし、「Zoom」  
に慣れていただく

(2) 7月、8月 ⇒ オンライン講座で応用科のみ残り講座を実施する

5月～8月末までの講座の休止はすでに連絡済みであり、受講生も快く承諾して下さっ  
ており、それぞれのご予定をすでに決められておられるのではないかと思いますので、オ  
ンライン講座への参加が案じられます。

事務局から3月の休止、4月の休止、5月～8月末までの休止を3回受講生に連絡してい  
ただきました。

檀原教室の場合、その連絡に対する受講生からの返信メールは下表のとおりです。

ご覧のように檀原教室  
の基礎科の受講生はあ  
まりパソコンを開けてお  
られないようです。  
このような状態では連絡  
がつきにくいように思い  
ます。

休止期間 コース	3月休止	4月休止	5月～8月休止	備考
基礎科(13名)	7名 5名電話連絡	7名※ (文字化け1名)	5名	3月9日竹谷さん退会 (椎間板ヘルニアの為)
応用科(19名)	15名 4名電話連絡	14名 (文字化け3名)	9名	

※添削や個人的な質問をされても、休止への返信がない方も2名おられました。

### <結論>

鎌田さんがオンライン講座に向けて一生懸命ご準備して下さっているのに大変申し上げにくい  
のですが、5月8日から始めるには少し早すぎるのではないかと思います。

そして、オンライン講座は受講生も講師も初めての経験なので、まずは慣れることから始める  
のがよいのではないかと思います。

休止中(4ヶ月間)のうち、前半の2ヶ月間は受講生と会員間の交流やミニ講座程度の簡単  
なものとし、「Zoom」の扱いに慣れていただく。

その間講師もスキルアップ出来ると思います。

結論は前半の 2 ヶ月間は受講生がオンライン講座を楽しめる簡単な内容とし、「Zoom」に慣れていただき、  
後半の 2 ヶ月間を応用科(残り講座)のみオンライン講座ですというのが私の意見です。

(山下さんコメント)

これまで経験したことのないオンライン講座で、しかも基礎科、応用科共に、これだけの内容が講座として可能なのかわかりません

(岡田さんのコメント)

講座となると…受講生のレベルの大きな違いや 家庭でやる…特に主婦に問題(理事のみなさんは 賛成なのでしょうか?)

(中略) ⇒ 「3. オンライン講座の進め方」に記載

受講生のレベルの違いも 問題です。先端に行くのは うれしいことですが、「受講生との交流の場」程度のものでほしい…切に願っています。

あの日程での講座は('∩') せめて 7,8月の先に 少し程度…何か 良い方法はありませんでしょうか(\*'▽')

(川本さんコメント)

(注)川本さんからは3項目のコメントを頂きましたが、2項目は「3. オンライン講座の進め方」の項目と思いそちらに掲載します。

受講生に再度連絡し、受講生の Zoom 環境を整える作業を考えると、スタートは 5 月 2 回目もしくは 6 月からが良いと思います。

5 月 1 回目に間に合った人は 1 回目にオリエンテーション。間に合わなかった人は 2 回目にオリエンテーションをするということでしょうか。

香芝教室の場合 最近(特に応用科の人)鎌田さん発信のメール、時には川本より発信のメールも 文字化けをする人がいます。

また、8 月まで休みと思って メールを見ない人が 今まで以上に増えているので、連絡と 環境を整えるのに時間がかかるのでは。

皆さんのコメントを頂き、初めてのことであり非常に不安を感じられていることが良く分かります。また、講座日程を考える時実施方法についても気になるかと思います。

やはり「1. オンライン講座の目的と位置づけ」の認識により講座日程は大きく変わるかと思えます。横尾さんのコメントに「受講生にこの講座で令和元年度の締めくくりと理解頂けたらありがたい。」とあるように、私としてはオンライン講座を実施するのであればキチンと日程表を整理してその目的をより明確にしたいところです。

皆さんのコメントを頂き改めて日程表を見直すとすれば、その前提となる私の認識は次のとおりです。

① 残念なことにパソコンを開かれる方は半数であり、講座開催の周知ははがきで行わざるを

得ません。9月再開の連絡に対して返信いただいた方は、再開を楽しみにされています。パソコンを開いていない方は、9月再開はご存じないです。この様な状況であり、連休明け早々にオンライン講座を開催してもいずれの受講生にも理解を得られると思います。

- ② 昨日会員の数名の方が ZOOM の環境整備をされ、動作確認でお話を聞きましたが、全く問題なく出来ており、受講生の環境整備は単純に URL をクリックするだけであり、問題があるとは思っていません。

あくまでも ZOOM の起動はURLのクリックだけで環境整備が出来ます。受講生はすでに 1 年間または 2 年間パソコンを学んでおり、これ位の操作は出来るのではないのでしょうか。

ZOOMの操作方法は、第 1 回目のオリエンテーションで詳しく説明をします。

- ③ 日程表を見られて皆さんは教室での講座を意識されているかと思いますが、オンライン講座では教室と同じ事はできません。「3. オンライン講座の進め方」で書きましたが、各章の作成課題のみ、教室で行う前回の復習も練習問題の練習もありません。

- ④ 自粛期間中の親睦を図り簡単な復習を行うのではなく、オンライン講座を開催するのであれば教室と同じようなルールで行いたいものです。

上記を踏まえて基礎科の日程表を見直すとすると下図の様になります。応用科は一定のテーマを考えた時、議案集での提案通りです。

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	オンライン講座環境を整えて、ZOOM の使用方法を学びます。 なお、くしぐりに画面を通じて対面しますから一人一人から近
第2回	Word	連休期間中の郵便配達を確認すると連休明けの講座開催は現実的でないため、別紙で提案します。 表の挿入と
第3回		Word のグラフィック機能について復習します。(第5章 グラフィックスの利用)
第4回	Excel の復習	すでに終えている「Excel の基本操作」と「表の作成」と「表の編集」を復習します。
第5回	四則演算と関数	Excel は、別名表計算ソフトとも言われ、計算が得意です。
第6回	(Excel)	四則演算、セルを用いた計算、そして関数を用いた計算と、計算方法の基礎を学びます。
第7回	印刷 (Excel)	Excel の印刷は、Word の印刷と少し異なります。 印刷方法の基本を学びます。
第8回	グラフの作成 (Excel)	Excel は簡単にグラフを作成することが出来ます。

### 3. オンライン講座の進め方

皆さんから次のようなコメントを頂きました。

(横尾さんコメント)

講座の進め方として復習に重点を置いて頂き賛成です。

(藤崎さんコメント)

(注)「オンライン講座の開催について」の回答項目のみ抜粋します。

- ② オリエンテーションは鎌田が担当します。開催に際して受講生との電話連絡等が必要と思いますが、各教室の講師の方にサポートをお願いします。

電話連絡は本人が出られなかったり、お仕事で不在だったり、留守番電話の場合もあつたりで、なかなか全員への連絡が難しいです。

(注)3月休止に対する未返信者へ電話連絡で実証済み。

(提案)アンケート形式で書面(往復はがき)による連絡は如何でしょうか。

オンライン講座を受講希望の有無、設定時間に参加出来るかどうか、家族の承諾があるかどうか、環境はどうかなど。

受講生は主婦が多く家族の協力なしでは参加が難しいです。

自宅に居ると主婦業優先が求められますので、2時間半の纏まった時間を都合つけられるかどうかは、それぞれの家庭によって違います。

特に「今はコロナでお孫さんのお世話をされておられる方もおられます。

また、特に午前中は主婦業は忙しいので、オンライン講座を開催するとしたら、出来れば午後の時間帯(1時半~)が望ましいです。

- ⑤ 各講座内容は基本的には休憩を取らず作成課題のみとして、講座の進め方、講座の時間等はメイン講師に一任します。

六樹会パソコンサロンは、シニアの方が対象ですので、視力の弱い方もおられますし、1時間おきくらいに休憩をとらないと画面を注視し続けるのはとても疲れます。

- ⑦ ⑥項の関係もありサポーターは参加しません。講師仲間で分担をして進めたいとおもいます。

六樹会パソコンサロンの活動は会員全員で活動してきましたので、講師仲間だけでというのは

サポーターの方に申し訳ない気持ちがあります。

せめて、2項の私の提案で、前半の2ヶ月間は、サポーターの方も参加していただくのはどうでしょうか。

そして、前半の2ヶ月間は受講生は無料とし、会員も無給でというのは如何でしょうか。

(山下さんのコメント)

Zoom の機能について全く理解できておりませんので、私が担当できるのかとても不安です。

(岡田さんのコメント)

会議程度はできるでしょうが、講座をやることには いろいろ問題があります。

私たちが 講座ができる程 ZOOM の扱い方を まだまだ知りません。

また、何時間もパソコンの前に座って…これは かなり大変なこと。シニアならではの目の問題、足腰の問題等。

教室に出かけるから 誰にも邪魔されない時間が持てるのであって、女の者は特に そうです。受講生もしかりです。

このコロナの時期、お孫さんの面倒をみておられる方もいらっしゃると思います。

(川本さんコメント)

(注) 次の2項目は「2. オンライン講座日程(案)」に書かれていた項目です。

① 受講生の家庭状況は様々なので、女性の家庭における環境の一般的な考えですが、会場へ行けば、パソコンだけの時間を過ごすことができます。しかし、在宅で「パソコンのために 2 時間半は部屋にこもって、家族のことはノーコメント」という立場はなかなか取れないと思います。

また、朝方・昼食時・夕食準備時間など、時間帯によっては×の時と、○の時もあるでしょう。そこで、1 回の交流時間は 1 時間～1 時間半 というところが良いのではないのでしょうか。

午前なら 10 時から 11 時(11 時半) 午後なら 13 時半から 14 時半(15 時) オンラインになると、100%パソコン画面を見るので、目のためにも一単位時間は短い方が良いでしょう。

② ①のような単位時間にしますと学習する内容は、教室で 1 回分を オンラインでは 2 回に分けて行うと良いと考えます。一講座 2 時間半という発想を変えてみましょう。オンライン講座といってもオンライン交流と考えて 在宅でも家庭に無理が来ないように考えてあげると、参加できる女性受講生が ひとりでも増えるのではないかと思います。

⑥について

受講料返金については、中垣さんをはじめ皆さんが不安に思われていると思います。でも、このオンライン講座に関しては、活動補助金は無しでいかがでしょうか。

⑦に関して

活動補助金がないとなれば、各教室のサポーターも参加可にしてはいかがでしょうか。皆さん日ごろから檀原教室へ出向いて研修されていますし、教室は講師サポーター一団結してやっているのです。是非 この度も共有したいです。是非 お願いします。

## 皆さんのコメントを受けて改めてオンライン講座の進め方について提案をします。

- ① オンライン講座開催に際して、受講生の周知ははがきで行い、講座開催の連絡等メールおよびホームページで行い、鎌田が担当します。はがきの案内はあくまでも開催案内であり、正式な案内はメールおよびホームページを使用します。
- ② オリエンテーションは鎌田が担当し、ZOOM の使用法の説明をします。時に ZOOM 画面と Word・Excel 画面の切り替え操作が身につくまでゆっくり説明します。開催に際して受講生との電話連絡等が必要と思いますが、各教室の講師の方にサポートをお願いします。
- ③ 各講座は ZOOM の共同ホスト機能を用いて行い、樫原教室は横尾さんと藤崎さん、宇陀教室は山下さんと岡田さん、香芝教室は横尾さんと川本さんに講師を担当して頂きます。お二人で出来ない講座があれば鎌田が担当します。  
各講座のメイン講師、サブ講師の分担については、教室ごとお二人で決めて下さい。  
(注) 昨日 Pro 契約を行い、ZOOM の共同ホストについて各任をしましたが、講座ごとに設定する機能であり、ホストの機能とお味が出来ます。  
共同ホストについては、後程下記の Web サイトを見てください。  
<https://zoom-shukyaku.com/zoom-%E4%BD%BF%E3%81%84%E6%96%B9-%E5%85%B1%E5%90%8C%E3%83%9B%E3%82%B9%E3%83%88-%E5%BD%B9%E5%89%B2/>
- ④ 相談サロンの講師はこれまでと同様に鎌田が担当します。持ち回りで共同ホストを担当して頂ければ幸いです。特にオリエンテーションでは2~3名の方をお願いします。
- ⑤ 各講座内容は作成課題のみとして、講座の進め方、講座の時間等はメイン講師に一任します。時間の制限もなく、必要により休憩をとって下さい。
- ⑥ 日程の前半は復習であり、ZOOM の操作に慣れて頂くのが目的かもしれません。
- ⑦ ご家庭における女性の立場は良く分かるところですが、オンライン講座に参加をされる以上、教室の参加と同様に参加をして頂く必要があります。当然、時間の調整、受講環境の整備等が必要です。受講生には自覚をもって参加いただきたいものです。
- ⑧ 各講座の連絡は、受講生、講師と共に希望される会員の皆さんに連絡をします。参加される会員はあくまでも傍聴者であり講座を進める上での役割はありません。
- ⑨ 日程が合わない場合は、受講生の申し出により他教室で受講して頂きます。
- ⑩ 本来の講座とオンライン講座の開催回数は自ずと異なりますから、受講料の収入と活動補助金の収支をトントンにするためには若干活動補助金の単金を見直す必要があります。中間決算時に単金も見直しをします。

## 4. 令和2年度の講座について

(横尾さんのコメント)

香芝教室令和3年1月4日分を11日にして頂いていますが、令和2年11月30日では

(山下さんのコメント)

9月から始まる講座については、了解です。

## 5. 最後に

オンライン講座は皆様のご判断により実施の可否を決めて頂ければ、私は従います。

余り私のことを考えずに「受講生第一」に考えた時、ご自身の活動に対する意欲も含めて、何が一番かを考えてください。

よろしく申し上げます。